

08/27・G7覆う自国第一主義 経済政策主導できず < 1 >

- 米との溝に無力感 「反保護主義」盛らず1ページの宣言文書で閉幕
- ・人民元11年半ぶり安値 円一時104円台 金融市場再び波乱 通貨安競争を懸念

08/28・ロシア・トルコ首脳 兵器の共同生産に意欲 米反発の懸念

08/29・米「逆イールド」再び 長期金利低下 国債にマネー集中 < 2 >

- ・英議会の長期閉会承認 合意なき離脱 反対派、余地狭まる
- ・対話欠く日韓 袋小路 優遇除外、韓国はWTO提訴準備 輸出入や観光に影響
- 米国務長官、日韓の対立「失望」 改善求める
- ・米の天然ガス価格下落 報復関税で対中輸出急減

08/30・中国、資金流出を警戒 海外送金、不動産の外貨調達制限 < 3 >

- ・フッ化水素 韓国へ輸出許可 政府、管理強化後で初 日韓供給網は維持

08/31・韓国、来年度歳出9%増 金融危機後で最大 産業振興「脱・日本依存」狙う

- ・インド、5.0%成長に減速 4~6月 消費・輸出とも鈍化 < 4 >

09/01・米「第4弾」きょう発動 世界経済に重圧 トランプ関税、空回り < 5 >

- 対中関税1930年代波に 対中赤字減でも総額増 米経済にも逆風じわり
- ・改憲「議論すべき」77% (日経世論調査) 対韓政策支持7割に
- ・ドイツ州議会選 極右、第2党に躍進 二大政党離れ止まらず

09/02・中国、米をWTO提訴 貿易協議不透明に

- トランプ氏「対中関税収入、農家に支給」 第4弾の正当性主張

09/03・韓国、タイとGSOMIA 首脳会談で合意

09/04・離脱延期案、議会審議へ 英首相「可決なら解散」

- 英、合意なき離脱ならEUへ輸出1.7兆円減 (国連推計)
- ・「対中交渉、再選後厳しく」 米大統領、WTO提訴に反発

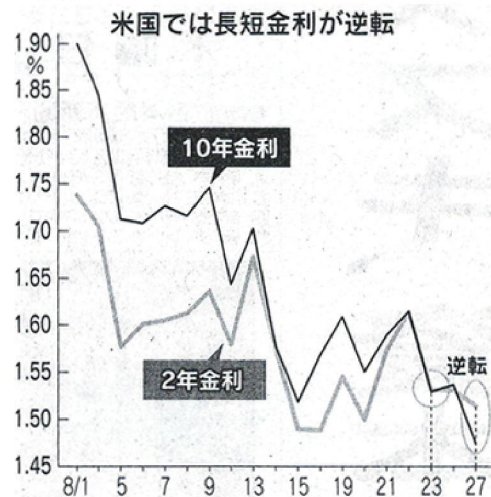
09/05・香港、逃亡条例案を撤回 行政長官 抗議収束は不透明

- ・英下院、離脱延期を可決 首相の解散提案は不発
- ジョンソン首相 EUに離脱延期申し入れなら「死んだほうがまし」
- ・イタリア、左派連合政権へ 「反極右」で呉越同舟 EU協調探る
- ・日ロ首脳会談 安倍首相「平和条約議論したい」

< 1 >

G7がまとめた宣言文書	
貿易	WTOを根本的に改革する。国際税制の2020年までの合意を目指す
イラン	イランの核兵器保有を認めず、地域の安定を優先
ウクライナ	数週間のうちに仏独などを交えた首脳会議を開く
リビア	政治的な解決が唯一
香港	1984年の中英共同宣言は有効で、暴力を避けるべきだ

< 2 >



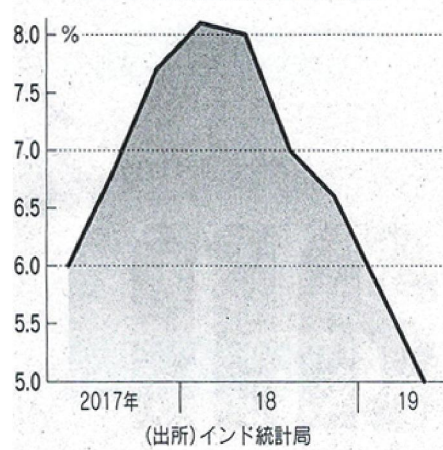
< 3 >

当面は元安を容認しているとみられるが...



< 4 >

インドの実質成長率は鈍化



< 5 >

対中赤字の減少分は他国に

